

3. 橋詰空間について

■ 資料の構成

<p>資料 1 橋のデザイン について</p>	<p>1. <u>橋本体のデザイン</u> 2. <u>橋脚のデザイン</u> 3. <u>側面シルエット</u> 4. <u>橋脚の表面仕上げ</u> 5. <u>張り出し部のデザイン</u></p>	<p>→ 本委員会で議論し、委員会として 決定していただきたい項目</p>
<p>資料 2 橋上空間の デザインについて</p>	<p>6. <u>橋上の基本構成</u> 7. <u>橋上空間デザインの方針</u> 8. <u>a 舗装、b 高欄、c 地覆、 d 歩車道境界、e 照明、f 色彩</u></p>	<p>→ 本委員会で議論いただき、委員会として 方針決定していただきたい項目 (詳細デザインについては次回決定)</p>
<p>資料 3 橋詰空間について</p>	<p>9. <u>橋詰および周辺空間の考え方</u></p>	<p>→ 今後の取り組みに向けて議論していただきたい</p>

整備基本方針より

- ① 全体方針
 - ・ 橋詰付近には、座って橋と水辺の風景を眺められるような溜まり空間をつくります。
- ④ 橋詰のデザイン
 - ・ まちや水辺空間とスムーズに行き来でき、歩行者の回遊性を高める橋詰空間とします。
 - ・ 背後の街路やまちと一体となった『歩行者優先の空間デザイン』とします。

場所ごとの条件や特徴を踏まえ

※橋詰空間については、地権者のみなさまの意向や関係機関との調整が必要

